

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 4 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

①平成 28 年度の審査・採択等に関する課題や問題点等の洗い出し

(2) 自主的審議について（公開）

①自主的審議のこれまでの経緯について

②今年度のスケジュールについて

3 開催日時

平成 28 年 8 月 9 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時 20 分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：秋山 茂（会長）、有泉圭助、浦野憲一（副会長）、金井秀雄、金子八重子
佐藤順治、高橋由美子（副会長）、塚田みさ尾、船崎 聡、水野恵一郎
森 紀文、吉田文男

・事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、小林主事

8 発言の内容

【山田センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【秋山会長】

- ・会議録の確認者：金子委員

「議題（1）地域活動支援事業について①平成28年度の審査・採択等に関する課題や問題点等の洗い出し」について事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.4により説明

【秋山会長】

前回の会議で地域活動支援事業の採択事業と採択額が決定したが、審査・採択を行う中で委員の皆さんが疑問を持たれたり、改善が必要だと思ったことをフリートーク形式で行っていただきたい。本日のフリートークの中で出た意見を集約して来年度の採択方針や審査方法を決める際に活かしていきたいと思う。また、来年度の採択方針等は1月に決定させる予定だ。それではフリートークで自由に意見を伺いたい。

— フリートーク開始 —

- 午後6時40分から7時20分までの40分間
- フリートークの概要は下記のとおり

《高額な提案事業》

- ・700万円の予算に対して、1つの提案が60パーセントを占めていたので、1件当たりの助成額の金額の上限を設けて、多くの団体に助成金が行き渡るようにしたらよいと思った。
- ・700万円の予算の内、300万円の提案があったが、昨年度決められた新道区の採択方針の中で、「優先して採択する事業以外については、制度の主旨や全体のバランスなどを考慮して採択する」と書いてある。優先して採択する事業とは何を指すのか、ということについては新道区史の事業を3年計画でやっていくのでお願いするということを決めた経緯がある。これはヒアリングでも補足している。

《ルール見直し（対象経費）》

- ・平成28年度の新道区の採択方針をみると、今までの通例からいっても、前は駄目だったので今回も駄目にしなければいけないというような例もあった。来年度に当たってはもう少し細かく運用面を決めたほうがよいと思う。例えば、剣道の胴具に関してはよくて、野球のユニフォームは難色を示すような結果になったというようなことで、提案者に対しては不快な思いをさせたと感じている。

- ・これからは、スポーツ団体の補助もしなければいけないと思う。試合用のユニフォームはある程度優先してあげたほうがよいと思う。その次に町内会という順でやっていかないと、クレームが出てくると思う。

《ルール見直し（全体優先）》

- ・聞くところによれば、不採択事業になった提案者からは、今の委員は全員クビにした方がよいと言っている人がいるそうだ。ということは、提案者にとっては審査結果が不本意だったということだ。地域活動支援事業なので、新道区全体のことを優先して、個々の町内会のことはその次にやらなければおかしい。提案を見れば各町内会で自分たちの都合のよいことを提案してきている。その中でも、全体に係わることを優先すべきだと思う。
- ・新道区は南部、中部、北部と3つに分かれているので、全体に係わることを優先する事業としてきちんと線引きをした方がよいと思う。また、1つの町内会から複数提案を出すことも止めていただき、各団体1提案などにした方がよいのかとも思う。
- ・町内会で負担すべき事業が出てきていると思うが、この支援事業を用いてよいのか疑問だ。今後は明確にして、不必要な提案は出さないようにして、予算が余れば市に返還した方がよい。町内会費を使うよりも、支援事業を使おうとなると思うので、今後のために考えてもらいたい。
- ・皆さんから理解を得られるような採択方針をPRして、各町内会ではなく、新道区の南部、中部、北部なり、少なくとも2つ以上の町内会で提案するようにしていってらどうか。
- ・自分たちの活動でこの町を何とかしようということで、必要な費用を出しているのだからこの事業には価値はあると思う。だから、できるだけ自由に提案を出してもらった方がよいと思う。提案して、本当にそれがよいのかどうかを協議するのがこの場なので、提案は自由にしてもらってよいと思う。提案者にあまり負担をかけると提案が出て来なくなると思う。
- ・当初は中部、北部、南部で一括して審議して提案を出す聞いていた。だが、今は各町内会がバラバラで出しているのが現状だ。新道地区全体という大義名分の中でやれば一番よいが、それは建前であって、実際、全体的な提案が出るかと言えば、ほとんど出ない。そうすると各町内会で困っているのだから提案しようというかたちにならざるを得ないのが実態だと思う。提案の中身が事業の趣旨に合うものであ

れば、各町内会で提案しても構わないと思う。今後はそんなかたちも含めて議論すればよいと思う。

- ・当初は、単独町内会からの提案は相応しくないと考えられ、町内会長協議会などから提案をしてくださいとの話だった。スポーツ団体等からの提案はあったが、各町内会からの提案はなかったので、700万円の予算に対して400万円しか提案が上がってこなかった。故に300万円も余ってしまい、2次募集や3次募集をかけて、県道板倉直江津線にグリーンラインを施工した。このような経緯から、各町内会から提案してもよいということを前の委員で決めたのだ。それによって、配分予算以上の提案が出てくるようになったのだ。
- ・最初は、区内全体のことをやるという話が、お金が余っているからとあって、2次募集をして各町内が自分たちの所に金を使うのはおかしいと思う。区全体を考えるはずなのに、何のための地域協議会なのかと思う。
- ・案を出すなどと言っていない。採択の際に、不適応とすればよいので、配分額が余ったら市に返せばよいという考えだ。

《配分額》

- ・事務局に質問だが、予算案というのは毎年大体同じなのか。
(事務局回答「今年度は、28区合わせて1億8千万円だった。1つの地域自治区当たり、450万円を均等割し、残額を人口割で配分している。このため、人口に大きな変化がなければ似たような額となる」)
- ・市全体のことを考えれば、新道区に700万円の配分予算があるからとあって、無理して全部使わなくてもよいと思う。ちゃんとした事業でなければ、カットし残額を出して、市に有効に使ってもらった方がよいのではないか。予算の繰越しはできないので、他のところで有益に使ってもらったほうがよい。
- ・一方、無駄使いの必要はないが、残ったら返すというのは、皆さんに受け入れてもらえる結論なのかと思う。

《募集期間・PR》

- ・事務局のPRが足りなかったのではないのか。私も知らなくて、人づてに聞いただけだった。
- ・募集期間が短くて焦ってしまう。締切までに町内で調整をするのだが、提案を探しているうちに1週間、2週間がすぐに経ってしまい時間が足りない。

- ・年度末に地域協議会と町内会長との意見交換があったが、町内会長にだけ説明すればよいのではなく、地域住民に分かってもらうための浸透性が必要だし、地域住民が理解したらもっと有効的な予算の使い道も出てくとも思う。来年度に向けての指針は、このような話合いの積み重ねが目安になってくればよいと思う。
- ・町内会長だけに説明すると、どうしても自分の町内のことばかり考えてしまうので、全体的なところで説明が必要だ。
- ・新道地区の提案条件があまりにも曖昧すぎ、町内会長が交代してしまい話が上手く伝わっていなかったこともあるので、皆に分かるような約束にしないといけない。
- ・一般の方は、地域活動支援事業がどのように使われているのか、市民に知っていただいたほうがよいと思う。市民にもう少し説明をして理解を得ないと、このお金はあまり活用されないのではないか。

(事務局の補足「活動支援事業は、地域課題の解決のため、自由な発想に基づいて皆さんに提案を出してもらうので、提案の段階ではたくさんの事業が上がってくる。本日お配りした事例集は毎年発行しているが、ホームページにも掲載されている。28区の地域活動は公表されているが、その事実を知らない方も多と思う。年度末毎に、地域活動支援事業の説明会を行っているが、広く一般の方に参加していただけないのは、私どもも悩みの種でもある。今回提案が多かったのは、委員改選に伴いPRの回数も多かったこともあったからだと考える。区によっては活動報告会で提案団体から事業の成果や課題を発表していただいているところもある。市の一層のPRが必要であることは十分認識しているが、今後委員さんから意見をいただきながら、よい方向に進んでいければよいと思う。）」

— フリートーク終了 —

【秋山会長】

地域活動支援事業についてのフリートークはこれまでとし、「(2) 自主的審議について」に入る。「①自主的審議のこれまでの経緯について」事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.1、No.2、No.3、「委員手引きより抜粋」により説明

【秋山会長】

今の説明について質疑を求める。

【船崎委員】

今まで出てきた中で、市が直接やらなければいけない問題があると思う。

一つ目は鴨島三丁目の公園だ。鴨島一丁目と二丁目には公園があるが、三丁目にはない。それで鴨島三丁目の町内会長が地域活動支援事業を使って公園を造ろうとしているが、これは市がやることだ。公園は必ず地域になければいけないのだから、地域協議会で市に要望しなければいけないと思う。

二つ目は、地域活動支援事業を使った県道のグリーンラインの施工は意味がない。あれは、ただ線を引いただけで、そこを通れといっても人は通れない。冬になれば除雪で埋まってしまう。どうせなら線が見えるように除雪をしっかりと、子どもが通れるように実態を調べて対処してもらうようなことを要望しなければ意味がない。

【秋山会長】

グリーンラインは、子どもに歩けということではなく、車の運転手にここは通学路だと注意喚起するためのものでもある。

【吉田委員】

グリーンラインについては昨年度に事業採択されて、鴨島の交差点から約 200 メートルと町内の団地の中の 2 か所を施工している。新聞社や警察も来ていただき、子どもたちにも交通安全の意識が芽生え、実際にグリーンラインの内側を通りながら通学している。車両の注意喚起にもなるので、やって良かったと思っている。

【浦野副会長】

私が 10 年前に富岡町内会長になったときに、県道板倉直江津線の既成同盟会の会長を 10 年間やった。寺から多目的センターを通過して稲田三丁目から鴨島三丁目に抜けるが、鴨島一丁目の子どもの通学路であるから拡幅整備をしてくれたことがある。しかし、地域協議会でこういう問題を取り上げても、県道は県地域振興局の管轄だからなかなか難しい面がある。

道の拡幅や歩道の確保の話は、稲田三丁目の十字路から上に行ったところに空き家がある。限られた予算の中でやるので、役所では土地買収までの話は動いてくれない。稲田三丁目、一丁目、鴨島、子安についての検討については、範囲を広げたところで協議しないとうまく話は進まないということで、一旦は協議をやめたと報告があった。

いずれにしても、色々な話の中で協議会の委員と町内会長だけが集まって話をしてなかなか前に進まないし、話も見えてこない。

次に、鴨島三丁目の公園に関しては、個人的に提案者にお会いしたときに地域協議

会でやっても無理なので、市議員や県議員などに話を付けてから、提案して市長か副市長に話をするやり方でなければできないのではないかとお話をさせていただいた。公園の街灯や水道を設置するのは都市整備課がすることであって、設置した後に鴨島三丁目で公園をよくしたいということであれば、地域活動支援事業で提案する段取りでもらえればよいとお話させてもらったこともある。

【船崎委員】

除雪について、鴨島から稲田間で塞いである用水が空いていれば、雪を捨てるときに楽だという話がでている。

【浦野副会長】

用水としては、新道土地改良区と関川水系土地改良区が合併したので、今の話のように蓋をすると雪が捨てられないという話は当時からあった。用水なのだから、融雪のことを言われる筋合いはないという話があったが、やはり地域住民のことを考えなければいけないということだった。今、用水は別の用水路を通っているの、そういう面において関川水系がほったらかしにしているわけではない。それが、今度は関川水系が県に委託して県が市に委託しているので、いずれにせよ窓口は市になる。そこから辺も今後、この協議会でどこまで採り上げるかということだと思う。

【船崎委員】

あれができることによって、通学路としての幅も広がる。グリーンラインが悩ましいのは、冬の除雪だ。

【浦野副会長】

除雪に関しては市除雪会議があり、関係する町内会の責任者が事業者グリーンラインの所を除雪してもらうように頼むといえ、必ずやってくれると思う。

【船崎委員】

今年は雪が少なかったのが良かったが、多いときには捨てっぱなしになるので、市で運んでもらえれば子どもも安心だ。

【水野委員】

地域協議会だよりに子ども達に向けたアンケート用紙等を付けて、通学路や遊ぶ所でどこが危ないかを記入してもらい、その結果を小学校ごとにまとめてもらい地域協議会に上げてもらったかどうか。その後市長に声を届けたら、市は実施してくれそうな気がする。

【秋山会長】

これで「次第（2）①自主的審議のこれまでの経緯について」を終了する。

次に「次第（2）②今年度のスケジュールについて」事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.4により説明

【秋山会長】

フリートーク形式で気楽に意見を言っていたきたい。

— フリートーク開始 —

- 午後7時45分から8時15分までの30分間
- フリートークの概要は下記のとおり

《支援事業（広報・PR）》

- ・活動支援事業の説明会が3月に行われるということだが、3月以外にも何回か行ったらどうか。（事務局回答「地域活動支援事業の予算が3月議会で決まってくるので、3月の段階でないと来年度に地域活動支援事業に予算が付くという保証ができないという理由から3月に行われている。自主的審議の報告会や意見交換会であれば、3月に縛りがないので、早い段階でできると思う」）
- ・地域協議会のことは、本当は我々委員が住民にPRしなければいけないのだろうけど、よいPR方法を考えてもらいたい。広報上越、地域協議会だよりは出しているが、関心を持っていただけないのが実態だ。住民が悪いのだろうけど、回覧版もほとんど見ないようなので、そういった実態も考えてPR活動を考えてもらいたい。
- ・私も今までは中身までは確認しないでいたが、やっと広報に目を通すようになった。出しても関心を持って読む人はいないと思う。地域協議会だよりは各戸に配布されているが、知らないのではなくて関心がないのだ。
- ・それぞれの町内会の広告やポスターを張ってもらえれば、大体目を通すのだが、そこまでお金を使うかどうかだ。
- ・小さい商店の割引券やクーポン券を付けると、格段に見てもらえると思う。
- ・広報に載せたり回覧版に載せたりしてPRをしてもいるが、知られていない。協議会の存在意義が問われる。

《 研修 》

- ・協議会が主催で、何か各町内に配布したり、講演をやるなどすればよいと思う。ま

た町内会では色々な問題も出ているので、そういうことも併せて懇談会などを行った方がよいと思うが、参加しない人が多いのではないかと懸念もある。よい提案ではないが、忘年会などのときにチラシで説明したらどうか。

- ・地域協議会の存在を皆さんにPRという話が出ているが、これまではほとんどが町内会との意見交換が主体であった。実際のPRになっていないのではないかということで、各町内の代表者もさることながら、PTAや青少年育成会議や各種団体とのコミュニケーションの場をつくって、新道区にどのような問題点があるのかを、座談会で話を聞いたらどうか。地域のことを皆さんと話あった結果をまとめて、市長に意見書として出していけば皆さんの目が向いてくるのではないかと思う。研修会で市外・県外まで出向く余裕はない時期だと思う。
- ・皆、問題点があっても我関せずといった感じで、地域でもまとまっていない。地域ごとに会費を出して、飲み会のようなものを開けば、ざっくばらんに話もできると思う。
- ・ここにも町内会長をやっておられる方も何人かおられる。各町内でそういう会合をやりたいのでバックアップしてもらいたいとして地域活動支援事業を使うことも一つのアイデアだ。
- ・高齢化社会になるので、空き家の問題が心配だが、委員の皆さんからも町内の総会に出たときなどに、話を出してもらってもよいと思う。
- ・子安には団地が沢山あるが、昔からある地域は高齢者ばかりだ。これからどうなるのかと思う。子安、子安新田、とよばは、特に苦勞されている。高齢者対策について、個々の地域に問題があるので、地域に講師を招いてお話を聞く機会があればよいと思う。高齢化社会で何かをやることは簡単だが、一時的なもので終わってしまうので、地域や自分たちで老人を支えたりできないかと思う。
- ・高齢者のケアは、地域協議会の中でどうにかしてくれと言われてもできないので、町内会が主体になってやってもらうことだ。委員が心配されているようなことは、地域協議会からも町内会長にお願いして、町内会からの意見をこちらに反映させてはどうか。
- ・基本的には町内会には話が来ない。班長会を必ず行うので、その時に班長に話をする。鴨島もアパートがものすごく多いが、それをどうするかというかは、個々の町内の課題であると思う。PRということになれば、協議会委員が地区に出ていって

やらない限りはPRにはならないと思う。どんなに広告しても見ている人は見ているし、見ない人は見ないと思う。

— フリートーク終了 —

【秋山会長】

今の色々な意見は事務局でまとめていただいて、皆さんに報告するということになる。

「次第3 その他」について、次回の会議日程を決める。

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：9月15日（木）午後6時30分から 新道地区公民館
- ・閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。